



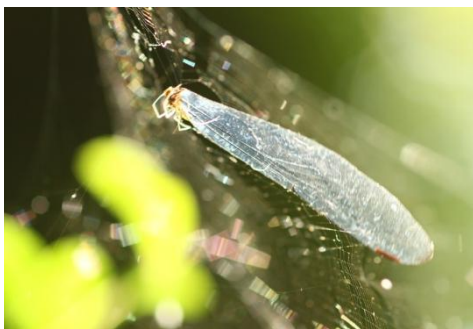
愛川ふれあいの村7月の風景

## 平成23年 7月 自然のたより

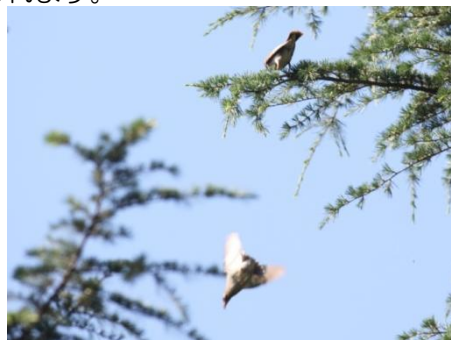
七月に入り、樹木や植物が大きくなりました。花の蜜を吸ったり、大きくなった葉を食べる昆虫が増えてきました。その昆虫を食べる蜘蛛、そしてその蜘蛛を食べる鳥と食物連鎖が見られます。

### ＜7月の自然のエピソード＞

梅雨明けで蒸し暑い日々が続いていますが、早朝のふれあいの村は、鳥の声や虫の聞こえさやかな朝を感じることができます。晴れの日が続いても、葉の先には朝露がつき、活動の営みを感じられ、ラリーカミキリやアカタテハたちの活動も活発になり、よく観察ができます。また、ときおりキリギリスの声も聞くことができます。



オオシロカネグモが巣を掃除  
食べられないトンボの羽を運んでいる



ムクドリの飛行訓練風景



ポタンクサギ



ラミーカミキリの雄



ラミーカミキリの雌



ヒヨドリやアオサギのトイレ待ち



ムクドリの食事風景



ヒメアカタテハ



ヤブガサとアサギバチ



アオサギ



網をお皿のように張るクワガタ



アカンサス



ザクロの花



生まれたばかりの  
アサギ

写真撮影：吉田 編集：葉